

ご存じですか！文化財

64

「地藏塚」

市指定史跡 昭和53年3月30日指定



問合せ
生涯学習課
(0480)62・1223



所在地 伊賀袋地内

明治時代までの渡良瀬川本流は、現在の新三国橋あたりから湾曲して排水機場方向に流れていました。

曲がりくねっていた渡良瀬川は、明治から大正にかけて真っ直ぐに改修されましたが、その結果、渡良瀬川の東側であった茨城県猿島郡新郷村伊賀袋と立崎の一部が西岸の埼玉県北埼玉郡川辺村側に飛び地となりました。

この伊賀袋立崎に地藏塚があります。東側を正面とし、向かって右に地藏菩薩像、左に一面六臂の如意輪観音座像、東側に六地藏をはじめと

する石仏群、塚上に宝篋印塔二基が造立されています。

立崎は古代には竪穴式古墳が造られ、中世に入ると源頼朝の臣下河辺氏がはじめて居館を築くと共に、頼政神社をまつりました。15世紀半ばには、足利成氏が鎌倉から移り住んで自ら古河公方と称して五代にわたって居城としました。江戸時代には、代々の古河藩主が北に縄張りを拡張して近世城郭を出現させたところです。

地藏塚は、歴史的にも地理的にも極めて重要な立崎の南限を示すものです。



紹介者 渡辺 研さん(向古河)